

## 番組活用を通してことばを育み、学級でのよりよい人間関係を築く

石川県金沢市立十一屋小学校 教諭 櫻井 元太

### 【番組活用の意図（小学校2年生実践）】

- ・ **おはなしのくに**【週に1度程度視聴】→読書だけでは培うことができない、俳優さんの表現豊かな演技（表情や声色）にふれることができる。
- ・ **ことばドリル**→低学年のうちに押さえておきたい文章の読み書きの基礎が番組内容として構成されている。また、コント形式で番組が進むので、学級内に笑いが起こる。
- ・ **お伝と伝じろう**→失敗場面から、どうして失敗してしまったのか明確に分かる。主人公の内言語を聞く事ができ、気をつけていくことはキーワード化されている。

### 【授業の概要】

日常の学校生活において、子どもたちが、ことばに対して敏感になり、語彙力を伸ばし、聞いたり、使ったりできるようになることをねらって3つの異なる番組を活用した実践に取り組んだ。児童のことばを育てるために、番組の効果的な活用場面を検討したり、番組を位置付けた単元計画を作成したりした。本実践を通してことばを育てることで、学級において友達とのよりよい関係を築くための素地を養うことにつながった。

### 【番組活用】小学校2年生 国語の授業を通して

#### 1. 「おはなしのくに」で、たくさんのことばに触れる

小学校2年国語（光村図書）「ことばのたからばこ」を教室掲示。①学習したお話に言葉が出てきたら、銅メダルを貼る。②半分の人が使えたら、銀メダルを貼る。③全員が使えたら、金メダルを貼る。

「おはなしのくに」視聴（週に1度）。番組に出てきた言葉も「ことばのたからばこ」で扱う。

量を増やす

番組に出てきた言葉を確認したり、意味を確かめたりする。「スイミー」の感想を書く活動などで活用。

質を高める

#### 2. 「お伝と伝じろう」で、肯定的な聞き方の指導

どのように話を聞いてもらえるとうれしいか、話し合う

「お伝と伝じろう」～しっかり聞く～視聴

番組を視聴して分かったことを話し合い、実行する。

#### 3. 「ことばドリル」で、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導

小学校2年国語（光村図書）「今週のニュース」で文章の構成について学習

「ことばドリル」～ほんとうはどうだったを視聴

気持ちを伝えるために、本当のことを入れた文章を書く

質を高める

### 【今回の実践における番組効果】

4. 児童の思考を広げ、学習への意欲を向上させる。
12. よりよいコミュニケーションのあり方を示し、学習者の対話による学びを促進する。

### 【授業デザインの工夫】

#### ●番組の継続活用

「おはなしのくに」は、経験豊富な俳優さんが表現豊か（表情や声色）に物語を演じている。表現から意味が伝わったり、使い方を知ったりすることができる。継続して指導していくことで、子どもの書く感想の表現にも変化がみられた。

スイミーはさいしょはきょうだいたのしそうにあそんでいたけど、あとから大きい魚が、きょうだいをたべてさびしそうだったけど、あとから色のくらげやドロップみたいな岩から生えているのを見てのしそうになって見ているときょうだいたちを見つけてほんとうにうれしそうだったし、きょうだいたちで力をあわせて、大きい魚をおいでしたからすごいです。←すごいでまとめている。

赤い魚のきょうだいたちがまぐるにたべられてもスイミーはこわかったけど、なかなかたべたから、**がまんづよい**と思います。わけは、**こわかった**けど、くらい海のそこをおよいですごいと思うからです。

スイミーは**ゆうきのある**魚だと思います。わけは、一びきになってもにげているし、**さびしい**けど、かんはってくらいにわい海のそこをおよいだからです。

●共通のお話を聞くことで学級での取組が可能  
図書館利用、10分読書は共通のお話ではないため、「ことばのたからばこ」に取り組みにくい、という問題を番組活用することで解消した。

#### ●視聴から話し合いという学習の場作り

児童は視聴を通して、話を聞く意義を理解し、分かったことを話したい、使いたいというやる気を持つことができた。掲示物や座席配置の工夫、練習時間の確保をすることで、どんな話の内容でも、疑問を見いだしながら、「本気になる」という姿勢で話を聞くことができるよう支援した。

### 【成果と課題】

本実践を通して、子どもたちは、番組を通して「生きたことば」に触れることができた。担任以外の大人が言葉を使って音読している点で、番組活用をすることは大いに意義がある。そして、表現の方法から言葉の使い方や言い方を学び、実生活で試していく。このようなサイクルを何度も何度も経て、子どもたちの「ことばを育む」ことができていった。聞く活動では、当初相手へ向くだけで精一杯、話の内容は全く気にしていなかったが、約2ヶ月継続して取り組むことで、相手を向き、そして話をしっかり聞くことができるようになった。6月末の授業参観では、金沢市教育委員会指導主事から、「子どもの聞く姿が素晴らしい。そして、先生の問い返しに、しっかりと答えることができていくことから、話の内容もしっかりと理解している。」という感想をいただいた。言葉の使い方や意味、そして語彙を育てていくことは、子どもたちの良好な関係を作りあげていく部分でも効果的であった。